

令和 7 年 11 月 28 日

## 吸収分割に係る事前開示書面

名古屋市西区那古野一丁目 1 番 12 号  
株式会社カノークス  
代表取締役社長 小河 正直

株式会社カノークス（以下「承継会社」という）は、2026 年 1 月 1 日を効力発生日とし、承継会社の完全子会社である株式会社カノークス鋼管北上（以下「分割会社」という）が営む事業のうち、鉄鋼加工品、その他鉄鋼製品の製造、加工及び販売に関する事業を吸収分割により承継すること（以下「本分割」という）といたしました。

本分割を行うに際して、会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 192 条並びに会社法第 782 条第 1 項及び会社法施行規則第 183 条により開示すべき事項は、以下のとおりです。

### 記

#### 1. 吸収分割契約の内容

本分割における吸収分割契約の内容は、別紙 1 のとおりです。

#### 2. 対価の相当性に関する事項

承継会社の完全子会社との吸収分割であるため、本分割に際し、その対価として、株式、金銭その他財産の交付は行いません。

#### 3. 分割会社の計算書類に関する事項

別紙 2 のとおりです。

#### 4. 分割会社の最終事業年度末日後に生じた重要な後発事象の内容

2025 年 11 月 26 日、承継会社との間で、2026 年 1 月 1 日を効力発生日として、吸収分割契約を締結いたしました。（本分割）

#### 5. 承継会社の最終事業年度末日後に生じた重要な後発事象の内容

##### (1) 事業譲受および子会社設立について

承継会社は、2025 年 10 月 31 日開催の取締役会において、ミツミホールディングス株式会社の子会社であるミツミ九州株式会社、ミツミ九州株式会社

の子会社である株式会社昭和金属が営む事業のうち、鋼材加工・販売及びこれに付帯する事業の一部を吸収合併存続会社が設立した子会社が譲受けることを決議し、事業譲渡契約を締結いたしました。

(2) 完全子会社との吸収分割締結の件（本分割）

承継会社は、2025 年 11 月 26 日、分割会社との間で、2026 年 1 月 1 日を効力発生日として、吸収分割契約を締結いたしました。

6. 承継会社の債務の履行の見込みに関する事項

本分割後の承継会社の資産の額は、負債の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本分割後の承継会社の事業活動において、承継会社が負担すべき債務の履行に支障を及ぼす事態の発生は現在予想されておられません。

以上により、本分割の効力が生ずる日以降における承継会社の債務につき、履行の見込みはあるものと判断いたしました。

以 上

## 別紙 1

### 吸収分割契約書

株式会社カノークス（以下「甲」という。）と株式会社カノークス鋼管北上（以下「乙」という。）とは、次のとおり吸収分割契約（以下「本契約」という。）を締結する。

#### 第 1 条

1. 甲と乙は、甲を承継会社、乙を分割会社として、吸収分割（以下「本分割」という。）を行う。
2. 甲は、乙が営む事業のうち鉄鋼加工品、その他鉄鋼製品の製造、加工及び販売に関する事業（以下「本件事業」という。）の権利義務を承継して、乙はそれを承継させる。
3. 本分割に係る承継会社及び分割会社の商号及び住所は、以下のとおりである。

甲：承継会社

商号 株式会社カノークス

住所 愛知県名古屋市中区那古野一丁目 1 番 1 2 号

乙：分割会社

商号 株式会社カノークス鋼管北上

住所 岩手県北上市相去町大松沢 96 番地 1

#### 第 2 条

1. 本分割の効力発生日は令和 8 年 1 月 1 日とする。ただし、前日までに吸収分割に必要な手続きが遂行できないときは、甲及び乙が、協議の上、会社法の規定に従い、これを変更することができる。

#### 第 3 条

1. 甲は、乙の発行済株式の全部を所有しているため、本分割に際して、甲から乙の株主に対する乙の株式に代わる対価の交付は行わない。

#### 第 4 条

1. 本分割により、甲及び乙の資本金及び資本準備金に変更はない。

#### 第 5 条

1. 本分割は、甲においては、会社法第 796 条第 2 項に基づく簡易吸収分割、乙においては、会社法第 784 条第 1 項に基づく略式吸収分割であるため、いずれも吸収分割契約承認に関する株主総会は開催しない。

#### 第 6 条

1. 甲は効力発生日において、本件事業にかかる乙の資産、負債、契約その他権利義務の一切を承継す

る。

#### 第7条

1. 甲及び乙は、本契約締結後、効力発生日に至るまで、善良なる管理者の注意をもって各業務を遂行し、かつ、一切の財産の管理を行う。

#### 第8条

1. この契約締結の日から効力発生日までの間において、天災地変その他の理由により、甲若しくは乙の資産状態又は経営状態に重大な変更が生じた場合又は隠れたる重大な瑕疵が発見された場合には、甲及び乙が協議の上、本契約を変更し又は解除することができる。

#### 第9条

1. 本契約に規定のない事項又は本契約書の解釈に疑義が生じた事項については、甲及び乙が誠意をもって協議の上解決する。

本契約の締結を証するため本書2通を作成し、甲乙各1通を保有する。

令和7年11月26日

甲：愛知県名古屋市西区那古野一丁目1番12号

株式会社カノークス

代表取締役社長 小 河 正 直

乙：岩手県北上市相去町大松沢96番地1

株式会社カノークス鋼管北上

代表取締役社長 高 橋 哲

第 19 期

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

事 業 報 告

事業報告の附属明細書

計 算 書 類

計算書類の附属明細書

2025年4月30日

株式会社カノックス鋼管北上

# 事業報告

自 2024年 4月 1日  
至 2025年 3月31日

## 1. 事業の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当事業年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や賃上げによる個人所得の改善などに支えられて持ち直しの動きが継続したものの、インフレの進行や人手不足などから一部では停滞感もありました。また、日本銀行による金融政策や米国大統領の動向が、為替をはじめ国内経済に影響を与えるなど依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社加工事業においては、トヨタ自動車東日本㈱の生産台数は続伸し、加工本数は7,959千本（前年同期比7.5%増）となりました。また、輸送事業においても、新規輸送案件受注により、輸送売上は増加（同4.6%増）となりました。

以上の結果、売上高は468,614千円（前年同期比6.0%増）となりました。一方、利益面では、製造原価の高騰などにより経費が増加したことにより、経常利益13,875千円（同30.2%減）、当期純利益11,174千円（同31.3%減）の結果となりました。

### (2) 設備投資

当事業年度に取得した主な設備について

鋼管自動搬送装置の増強 (機械及び装置 4,310千円)

### (3) 直前三事業年度の財産及び損益の状況

	第 1 6 期 (2022年3月期)	第 1 7 期 (2023年3月期)	第 1 8 期 (2024年3月期)	第 1 9 期 (当事業年度) (2025年3月期)
売上高 (千円)	370,505	405,921	442,211	468,614
経常利益又は経常損失 (△) (千円)	4,168	△39,617	19,881	13,875
当期純利益又は当期純損失 (△) (千円)	3,195	△39,802	16,271	11,174
1株当たり当期純利益 又は当期純損失 (△) (円)	1,597.64	△19,901.20	8,135.96	5,587.14
総資産 (千円)	384,542	329,972	292,708	268,234
純資産 (千円)	85,314	45,512	61,783	72,958
1株当たり純資産額 (円)	42,657.24	22,756.04	30,892.00	36,479.13

### (4) 対処すべき課題

鋼管切断加工事業・・・ 加工設備の更新、鋼管切断加工本数増加に対応するための設備投資。  
輸送事業・・・ 適切な運賃収入の獲得。

### (5) 主要な事業内容

鋼管の切断及びプレス加工、鋼材その他製品の輸送

(6) 従業員の状況

従業員数	前期末比較増減	平均年齢
38 名	3 名減	46 歳 7 ヶ月

(7) 重要な親会社の状況

親会社の状況

当社の親会社は株式会社カノークスであり、同社は当社の株式を 2,000 株（出資比率 100%）保有しております。当社は親会社へ鋼管の切断及びプレス加工、鋼材輸送の取引を行っております。

(8) 主要な借入先及び借入額

借 入 先	借 入 残 高（千円）
株式会社カノークス	127,000

2. 株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数 4,000 株

(2) 発行済株式の総数 2,000 株

(3) 株主数 1 名

株 主 名	持株数	議決権比率
株式会社カノークス	2,000 株	100%

3. 会社役員に関する事項

地 位	氏 名	重要な兼職の状況
代表取締役	西山 英孝	
取締役	藤本 善久	株式会社カノークス 取締役常務執行役員 営業本部長 兼 西日本支社長
取締役	友野 光朗	株式会社カノークス 東北支店長
取締役	水野 伸	株式会社カノークス 執行役員名古屋本店長兼自動車鋼材部長
監査役	森 信嘉	株式会社カノークス 審査部長

- (注) 1、代表取締役 西山英孝は2025年3月31日をもって退任し、2025年4月1日開催の臨時株主総会において、高橋哲が代表取締役に就任いたしました。
- 2、取締役 藤本善久は2025年3月31日をもって退任し、2025年4月1日開催の臨時株主総会において、山内俊浩が取締役に就任いたしました。
- 3、取締役 水野伸は、2025年4月1日付で株式会社カノークス執行役員営業本部長自動車鋼材管掌兼名古屋本店長に就任いたしました
- 4、監査役 森信嘉は、2025年4月1日付で株式会社カノークス業務部長兼業務安全衛生課長に就任いたしました。

# 事業報告の附属明細書

第 19 期

自 2024年 4月 1日  
至 2025年 3月31日

1. 他の法人等の業務執行取締役等との重要な兼職の状況

区分	氏名	兼務先	兼務の内容
取締役	藤本 善久	株式会社カノークス	取締役常務執行役員 営業本部長 兼 西日本支社長
取締役	水野 伸	株式会社カノークス	執行役員 名古屋本店長兼自動車鋼材部長

第 19 期  
貸 借 対 照 表  
(2025年3月31日現在)

(単位: 円 )

株式会社カノークス鋼管北上

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(118,322,926)	I 流 動 負 債	(64,850,630)
現 金 及 び 預 金	69,465,133	1年内返済予定の長期借入金	12,000,000
売 掛 金	45,680,879	リ ー ス 債 務	12,452,144
貯 蔵 品	1,605,000	未 払 金	19,068,245
そ の 他	1,571,914	未 払 費 用	2,343,391
		未払法人税等	891,745
		未払消費税等	6,660,655
		預 り 金	529,850
		賞 与 引 当 金	10,596,600
II 固 定 資 産	(149,911,491)	前 受 金	308,000
(1)有形固定資産	(149,894,491)	II 固 定 負 債	(130,425,520)
機 械 及 び 装 置	122,975,967	長 期 借 入 金	115,000,000
車 両 運 搬 具	2	リ ー ス 債 務	15,425,520
工具、器具及び備品	1,622,003	負 債 合 計	(195,276,150)
リ ー ス 資 産	25,296,519	(純 資 産 の 部)	
		I 株 主 資 本	(72,958,267)
(2)無形固定資産	(7,000)	(1)資 本 金	(80,000,000)
電 話 加 入 権	7,000	(2)資本剰余金	(20,000,000)
ソフトウェア		資 本 準 備 金	20,000,000
(3)投資その他資産	(10,000)	(3)利益剰余金	△ 27,041,733
そ の 他 の 投 資	10,000	その他利益剰余金	△ 27,041,733
		繰越利益剰余金	△ 27,041,733
		純 資 産 合 計	72,958,267
資 産 合 計	268,234,417	負債及び純資産合計	268,234,417

第19期  
損益計算書

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 円)

株式会社カノークス鋼管北上

科 目	金 額	
I 売上高		468,614,936
II 売上原価		443,263,384
売上総利益		25,351,552
III 販売費及び一般管理費		15,745,404
営業利益		9,606,148
IV 営業外収益		6,952,257
受取利息	33,018	
受取賃貸料	2,800,000	
雑収入	4,119,239	
V 営業外費用		2,683,285
支払利息	867,844	
賃貸資産費用	1,780,544	
雑損失	34,897	
経常利益		13,875,120
税引前当期純利益		13,875,120
法人税、住民税及び事業税		2,700,843
当期純利益		11,174,277

株主資本等変動計算書(第19期)

事業年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

株式会社カノークス鋼管北上

(単位:円)

	株 主 資 本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本 合計
			利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益剰余金		
当期首残高	80,000,000	20,000,000	—	△ 38,216,010	△ 38,216,010	61,783,990
当期変動額						
当期純利益				11,174,277	11,174,277	11,174,277
当期変動額合計	—	—	—	11,174,277	11,174,277	11,174,277
当期末残高	80,000,000	20,000,000	—	△ 27,041,733	△ 27,041,733	72,958,267

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 固定資産の減価償却の方法

#### 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次の通りであります。

機械及び装置	2年	～	14年
工具器具備品	2年	～	10年
リース資産	6年		

### (2) 引当金の計上基準

#### 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

### (3) 収益及び費用の計上基準

#### 加工事業

鉄鋼製品等の役務提供に係る収益は、主に加工等による役務提供であり、顧客との契約に基づいて鉄鋼製品等を加工する履行義務を負っております。当該履行義務は、鉄鋼製品等の加工が完了する一時点において、顧客に対する履行義務が充足されると判断し、加工完了時点で収益を認識しております。

#### 輸送事業

輸送の役務提供に係る収益は、顧客との契約に基づき、製品を輸送する履行義務を負っております。当該履行義務は、製品輸送が完了する一時点において、顧客に対する履行義務が充足されると判断し、製品輸送完了時点で収益を認識しております。

## 2. 貸借対照表に関する注記

### (1) 資産に係る減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 326,578 千円

### (2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	28,076 千円
短期金銭債務	13,927 千円
長期金銭債務	115,000 千円

## 3. 損益計算書に関する注記

### 関係会社との取引

#### 営業取引による取引高

売上高	274,623 千円
製造原価の取引高	16,869 千円
販売費及び一般管理費の取引高	2,107 千円
営業取引以外の取引による取引高	867 千円

## 4. 関連当事者との取引に関する注記

### 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	㈱カノークス	被所有 直接 100%	鋼管加工、鋼材輸送 役員の兼任	鋼管の切断及びプレス加工	149,200	売掛金	28,076
				鋼材輸送	125,423		

### 取引条件及び取引条件の決定方針等

鋼管の加工及び輸送代金は市場の実勢価格を基準として取り決めております。

5. 1 株当たり情報に関する注記

1 株当たり純資産額	36,479 円 13 銭
1 株当たり当期純利益	5,587 円 14 銭

6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

# 計 算 書 類 の 附 属 明 細 書

## 第 19 期

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月 31日

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細
2. 引当金の明細
3. 製造原価報告書
4. 販売費及び一般管理費の明細

# 1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：千円)

区分	資産の種類	期首帳簿 価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末帳簿 価額	減価償却 累計額
有形固定 資産	機械及び 装置	141,673	4,310	—	23,007	122,975	208,911
	車両運搬具	0	—	—	—	0	3,850
	工具、器具 及び備品	2,388	—	—	766	1,622	12,594
	リース資産	43,328	—	—	18,032	25,296	101,221
	計	187,390	4,310	—	41,805	149,894	326,578
無形固定 資産	電話加入権	7	—	—	—	7	—
	ソフトウェア	—	—	—	—	—	680
	計	7	—	—	—	7	680

(注) 当事業年度の主な増加額は次の通りです。

機械及び装置                      鋼管自動搬送装置の増強                      (4,310 千円)

## 2. 引当金の明細

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
	千円	千円	千円	千円
賞与引当金	8,932	10,596	8,932	10,596

(注) 計上の方法は、計算書類の重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載してあります。

# 製造原価 科目内訳明細

株式会社カノークス鋼管北上

(単位：円)

科目	金額
支 払 運 賃	114,792,698
従 業 員 給 料 手 当	98,096,419
残 業 手 当	23,053,394
通 勤 手 当	5,842,119
従 業 員 賞 与	21,738,480
福 利 厚 生 費	25,959,183
中 退 金 掛 金	2,695,000
旅 費 及 び 交 通 費	7,933,047
乗 用 車 燃 料 費	25,599,685
作 業 消 耗 品 費	12,592,215
光 熱 水 道 費	12,808,236
倉 庫 賃 借 料	13,289,992
機 械 車 輜 リ ー ス 料 等	3,667,657
修 繕 ・ 維 持 費	26,820,531
業 務 委 託 費	3,121,207
減 価 償 却 費	41,805,636
雑 費	3,447,885
計	443,263,384

## 販売費及び一般管理費 科目内訳明細

株式会社カノークス鋼管北上

(単位: 円)

科目	金額
役 員 報 酬	7,500,000
交 際 費	745,762
旅 費 及 び 交 通 費	364,751
通 信 費	810,790
消 耗 備 品 費	561,447
租 税 公 課	1,739,850
修 繕 維 持 費	406,121
業 務 委 託 費	519,276
支 払 手 数 料	10,328
雑 費	3,087,079
計	15,745,404